

総連会長⇒地区連会長⇒支部長⇒会員各位

令和2年4月吉日  
白鳩会大阪教区連合会  
会長 房本喜久美

## 白鳩会便り No.3

合掌、ありがとうございます。

雨と風が続きましたが、皆様にはお変わりなくお過ごしでしょうか？

この度、全国に緊急事態宣言が発令され、今は、国を挙げて感染拡大防止に取り組んでいる最中  
でございます。3つの密（密閉、密集、密接）を避けて、うがい、手洗い、マスクもして、安全  
にお過ごしくださいますようお願いいたします。

長い自粛期間でございますので、お元気に過ごしていただくためにも、今一度、白鳩会員の使  
命を思い出しましょう。

私たち白鳩会員は、人間神の子の真理に基づき、女性の天分である愛と美と優しさとを生きて  
各家庭を天国とし、さらに地域社会を、国を、全世界を愛の大調和の光明世界にしていくことが  
目標でございます。

このような時こそ、三正行を実修して頂きまして、常に神様に生かされている生命であること、  
また、ご先祖様にも護られていることを忘れないように、神様が与えて下さっている全てのもの  
に感謝しながら日々の生活を送らせて頂きましょう。

ご家族や身近な方への祈りと愛語と讃嘆、そして、私たちの生活を支えて下さっている皆様への  
感謝も忘れずに過ごして参りたいと思います。

4月11日のブログ『唐松模様』の「コロナウィルスは何を教える（2）」で生長の家総裁・  
谷口雅宜先生は、「今、世界の多くの人々が、自宅や自室から出られず、出ても自由に歩き回れず、  
買い物にも制限を加えられ、娯楽や遊興が白眼視される風潮を感じていることだろう。そんな時、  
他に依存せず、他から求めず、慣れないことも自ら行い、自ら学び、自ら製作し、他に与える生  
き方をするのはどうだろう？そう、これが「メンドー臭い生き方」である。しかし、これが  
「過剰なスペシャリゼーション」から自由になる唯一の方法だと私は思う。物事が正常に進んで  
いたときには、すべて省略していたことでも、この機会に自分で頭を使い、手を使ってやってみ  
るのである。きっと「不自由」と思っていた領域が減り、内心の「自由」が広がっていくことを  
体験されることと思う」とご指導くださっています。この機会に、今まで気になっていたけれど  
も、できなかった様々のことにチャレンジしてみましょう。

谷口恵美子先生著『心の散歩道』より

「古い母のゆかたで 雑巾を縫う 母のゆかたを 雑巾にしては 申し訳ないと 思いつつ縫う  
母は云っていた 「昔から 古いゆかたはおむつにして 次には雑巾にしたのよ 最後まで使う  
のがいいのよ」 衿がすれていても 母の着ていたゆかたです 何を拭いたらいいのでしょうか」

どうぞ、このような時期こそ、心豊かにお過ごしください。

皆様のご健康とお幸せをお祈りしています。

再拝